

# 社会新報

社会民主党全国連合機関誌宣伝局

〒100-8401 東京都千代田区永田町1-6-1

定価(税別) 年間180円 1ヶ月700円 5ヶ月1800円

号外三春版 12月8日

## 第二章 戦争の放棄 第9条 戦争の放棄、軍備および交戦権の否認

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇、又は武力の行使は国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

# いったい誰のための政治か なぜ今、何のための秘密か

## 戦前の治安維持法・軍部独裁政治の再現する特定秘密保護法

今日、12月8日は多くの国民を犠牲にした、あの悲惨な太平洋戦争が始まった日であり、今年で72年になります。

自民党安倍首相は、“何が秘密なのかと秘密”という特定秘密保護法案を衆院で強行採決し、戦前の暗黒政治に戻そうとしています。政府に都合の悪い情報はすべて隠蔽し、反対する人や、気にくれない者はいつでも弾圧できるという基本的な人権や思想・言論の自由を無視した戦前の独裁政治に後戻りする危険性があります。

国防軍の創設や集団的自衛権など戦争政策を強かに押し進める安倍首相の危険な動きを黙って見過すわけにはいきません。

二度と再び、あの悲惨な戦争を繰り返させないためにも、秘密保護法を廃棄し、安倍首相の“戦争のできる国”の戦争政策に反対の声をあげましょう。

### 国民主権を根底から否定する憲法

### 特定秘密保護法

安倍首相は“憲法改正は私の歴史的使命”と宣言し、平和憲法を変えることに強い執念を燃やし、“戦争のできる国”をめざして暴走を開始しています。

強行採決された特定秘密保護法は政府の都合におと.“どんな情報でも秘密にすることができ、

秘密をもちた者は懲罰の対象にされる”という法律で、あらゆる情報が国家の統制力下におかれ、言論や報道の自由、国民主権を根底から否定するものです。

都合の悪い情報をかくし、国民に真実を知らせない目的

戦前、治安維持法や軍機保護法によりすべての情報が管理され、反対する者を弾圧し

侵略戦争へと断頭出しました。そして、大本営発表の示す宣伝を信じ、知らず知らずのうちに尊厳と自由を失い、悲劇を生み出しました。

原爆投下後でも正確な情報を知らず、"どこにも健康に影響はありません。安全です"という国の一方的な報道に多くの人が被曝し、子供たちに甲状腺ガンなどの健康被害が広がっています。

### 歴史に背を向ける安倍内閣の暴走にストップを!!

国民の目耳口をふさぎ、知る権利を奪う秘密保護法に多くの問題点が指摘されているにもかかわらず、口は議論もしないまま強行採決までして成立させるのは、一体誰のためなのか。そして、なぜ今必要なのか。情報漏えい防止は、現行法で十分可能といわれています。

権力者の都合だけで、国家の将来を左右するしるしを作る秘密保護法は、憲法改悪の布石であり、“戦争のできる国”にするための出発点です。

二度と同じあやまちを繰り返させないためにも、歴史に背を向ける安倍首相の暴走にストップをかけましょう!!

反対するものはテロだ

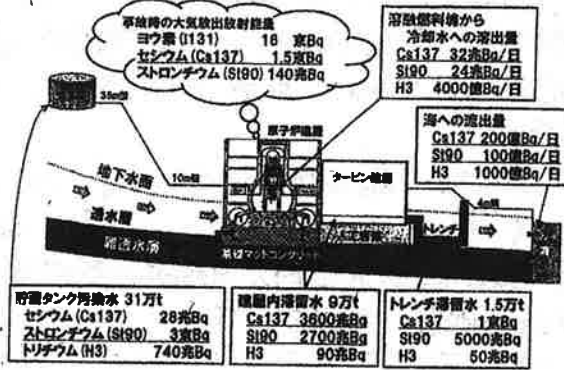


日本の平和を脅かしているのは中国でも北朝鮮でもない! 安倍自民政権そのものだ

子供や孫たちの未来のため平和憲法を守ろう - 社民党

# 高濃度汚染水を垂れ流し、海洋を汚染！ コントロール不能の福島原発

(資料5) 事故時大気放出量の260倍のストロンチウム90が地下に



## その場しのぎの無責任な対応

原発事故から2年7ヶ月、いまだに収束しないばかりか、大量の汚染水を垂れ流し、空や海、大地を汚染しています。

国や東電は収束に向けた具体的な対策を取らないばかりか、“原発はコントロールされ、汚染水は完全にブロックされている”と嘘をつき、原発の輸出と再稼働を強行しようとしています。

除染作業も進まず、被災者に3年近くの避難生活を強い、土地や家を奪い、58名もの子供達に甲状腺がんを発症させています。

このような深刻な状況にもかかわらず、安倍首相は口先だけのその場しのぎの対応に終始し、一国の総理としての痛みも責任のかけらさを感じられません。子どもたちが安心して暮らせる福島を取り戻す

めにも、もうこれ以上黙っていてはいられません。すべての原発の廃炉に向け、“原発反対”の声を上げていきましょう！

## 瞬時に致死量に達する放射線量

### オリンピックよりも

### 原発事故の収束、子供たちの健康が最優先

ミルトンタウン1-3号機の建屋内は、数万シーベルトという瞬時に致死量に達する放射線量のため、誰一人として現状を確認できず、収束のメドもたっていません。

さらに、発熱している燃料棒を冷やすため、毎日400tもの冷却水を注入し続けなければならないが、地下水の流入とあわせ、ストロンチウムなどの高濃度汚染水が漏れ出しています。

原子炉への地下水の流入を防ぐ「凍土壁」を作る計画ですが、不可能という疑問の声が専門家から出され、根本的な解決策にはなっていません。

政府の資料(図)でも明らかのように、原発事故で何十京バクシという大量の放射能を大気中に放出し、その260倍もの量が今も地下に残されており、地下水脈を通じて海に流出しています。

これほどの重大事故を引き起こしたにもかかわらず、東電幹部や原子力村の御用学者、政府関係者は

誰一人処分されず、責任も取ろうとはしていません。そればかりか、安倍首相は“原発は完全にコントロールされている”と嘘をついて、オリンピックを招致し、海外に原発を輸出し再稼働を強行しようとしています。

オリンピックに誘われるよりも、原発事故の収束や被災地の復興、子供達の健康が最優先の課題であり、今この国を救うためにはあらゆる対策を全力をあげて取り組むべき課題です。

佐久間茂元三巻町議の

11月15日からの街宣行動の訴えです。

秘密とは、知らせないことです。

知らなければ、批判できません。

批判がなければ民主政治は終わりです。

秘密保護法案に反対しましょう。

大問題の秘密保護法案。

反対が59%、毎日新聞の世論調査です。

もう一息、こぞって反対しましょう。

秘密が多ければ多いほど

その国はダメな国です。

秘密保護法案に反対しましょう。

見ざる、聞かざる、言わざる

壁に耳あり、障子に目あり

そんな国 いやだと思いませんか。

秘密保護法案に反対しましょう。

社民党三巻支部

平和憲法を守ろう

# すべての原発を廃炉にし、放射能から子どもたちを守ろう！